

## 三浦 収 総合研究センター特任助教 稲盛財団研究助成対象者に選ばれました。

「イノベーティブマリンテクノロジー研究者育成」事業テニユアトラック教員 三浦 収（みうら おさむ）総合研究センター特任助教が稲盛財団研究助成対象者に選ばれました。

三浦 収 総合研究センター特任助教が、『干潟生物の攪乱と回復過程-東日本大震災前後のウミナシ類の生態的・遺伝的変遷』という研究題目で公益財団法人稲盛財団の平成 25 年度（2013）研究助成対象 50 件（平成 25 年度は自然科学系 40 件，人文・社会科学系 10 件）のうち自然科学系の研究助成対象者の一人に選ばれました。

また、同財団の「伯楽」対象者<sup>注1)</sup>にも、平成 25 年度対象者 50 名の中で唯一人選ばれました。

注 1) 中国の故事にある「千里馬常有 而伯楽不常有」<sup>注2)</sup>にちなんだこの制度は、研究助成選考委員が推薦し、選考委員会で承認された助成対象者に 2 年連続で助成を行う制度です。

注 2) 「千里馬常有 而伯楽不常有」

訳文：千里の馬は常に有れども伯楽は常には有らず

意味：「千里の馬」は、一日に千里も走ることのできる名馬。「伯楽（はくらく）」は、もともと星の名で、天上で馬の世話をするのが役目であったというが、転じて馬の素養を見分ける人をいうようになった。いかに才能のある者も、それを認めてくれる人がいなければ、力を発揮できないという意味。

その他 詳細に関しましてはこちらをご覧ください。

【公益財団法人稲盛財団ウェブサイト】

[稲盛財団/助成事業/平成 25 年度（2013）研究助成対象者：50 件]

[http://www.inamori-f.or.jp/ja\\_fd\\_gra\\_obj.html](http://www.inamori-f.or.jp/ja_fd_gra_obj.html)

[贈呈式の様子]

平成25年度 稲盛財団研究助成金贈呈式  
第17回 盛和スカラースソサエティ総会



提供：稲盛財団 2013

[助成金対象者を代表して  
謝辞を述べる三浦特任助教]



提供：稲盛財団 2013



提供：稲盛財団 2013

[贈呈式後の懇親会の様子]

右から  
高知大学 総合研究センター 三浦 収 特任助教  
公益財団法人 稲盛財団 理事長 稲盛 和夫氏  
高知大学 小槻 日吉三 理事(研究担当)  
高知大学 渡邊 康 理事(財務担当)